

現在、大阪福祉事業財団の施設での新型コロナウイルスの集団感染は発生しておりません。引き続き感染防止につとめてまいります。

2021/4/27

大阪福祉事業財団の施設での新型コロナウイルスの感染について（報告）④

社会福祉法人大阪福祉事業財団

日頃より、当法人・施設の諸事業へのご理解とご協力を頂きありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症の各施設での状況についてご報告させていただきます。

◆豊里学園（知的障害児入所型福祉施設）の状況

豊里学園で3月23日から発生しておりました新型コロナウイルス感染症クラスターは、4月23日付で解除となりました。来週からは、こどもたち全員が学校に行けることとなります。

ご心配をおかけしましたご家族、地域、関係者のみなさま、クラスター発生以降、職員を派遣頂いた施設と職員のみなさま、早々に物資やご支援をいただきました個人、団体、障がい児者施設・事業所関係のみなさまに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

引き続き、感染の防止に努めるとともに、子どもたちの豊かな支援をすすめてまいります。

◆城東特別養護老人ホームの状況

4月5日に入居者1名、4月6日に入居者2名と職員1名4月13日の全入居者PCR検査の結果入居者2名が陽性と診断されました。合計で入居者5名、職員4名が陽性と診断されました。これを受け、併設医療機関であるすみれ病院はじめ、所管保健所や専門医療機関の指導指示のもと、陽性の方には専門病院への入院までの支援をおこない、濃厚接触者の健康観察と迅速な検査、症状に合わせた処置を行っています。その他、全入居者の健康観察にとりくみ、発熱などの症状があればすぐにすみれ病院と連携して検査受検につなげ、感染症が拡大していないか念入りに確認を進めてきました。

4月26日現在の罹患者の状況としましては、入居者3名が入院療養中、1名が入院されないまま体調回復し隔離解除となっており、職員3名が自宅療養中、1名が隔離解除されて職場復帰しております。

なお、大変残念ながら、罹患された入居者のうち1名が入院療養先で逝去されました。

心よりご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様には心よりお悔やみ申し上げます。

4月21日に行った全職員PCR検査の結果、全員陰性が確認されたのをはじめ、13日以降新規の陽性患者が出ていないこと、4月26日をもって濃厚接触者の健康観察期間が終了することから、大阪市保健所の助言に基づき、4月30日まで全入居者・職員の念入りな健康観察措置（1日2回検温等）・フロア間移動制限などの感染対策を継続し、状況に変化がなければ、集団感染対応は解除となる見通しです。

ただし、大阪府に対する緊急事態宣言発出にともない、4月末まで中止としておりました窓越し面会を含めた面会対応は、5月11日までひきつづき中止といたします。入居者に体調不良や感染症を疑う状況がありましたら、これまでどおり医療につなげる措置をとり、ご家族様に経過を報告してまいります。

日々様子につきましては、このたびのようなお手紙や、当施設ホームページでも適宜お知らせしてまいりますので、ご確認ください。

関係者の皆様にはご心配をおかけし、大変申し訳ありません。現状をご理解いただき、引き続きご協力をよろしくお願い申し上げます。

2021/4/8

大阪福祉事業財団の施設での新型コロナウイルスの感染について（報告）③

社会福祉法人大阪福祉事業財団

日頃より、当法人・施設の諸事業へのご理解とご協力を頂きありがとうございます。
新型コロナウイルス感染症の各施設での状況についてご報告させていただきます。

◆城東特別養護老人ホームでの陽性者発生のお知らせ

4月8日時点で、入居者3名、職員2名の感染が確認され、集団感染として対応しております。

尚、4月8日に職員全員の定期的PCR検査を実施、4月9日に全員の陰性を確認しました。引き続き、法人・施設で全力をあげて対応していきます。

4月5日、当施設入居者1名が新型コロナウイルス感染症と診断されました。翌4月6日には、同じユニットの入居者2名と職員1名が同じく診断されました。その後、入居者所管保健所の指示を待っている状態です。

これまで、新型コロナウイルス感染症予防策として、館内への立ち入り・外出制限、消毒の徹底、風邪様症状のある場合の感染症対応の徹底、行事や食事など館内生活様式の変更、通年のマスク着用はじめ職員の健康管理・生活様式の変更などの感染症予防策の徹底してまいりましたし、ご家族様・関係者の皆様には、面会や外出の制限にご協力いただきましたのに、残念ながらこのような事態となり、みなさまにご心配をおかけする事態となったこと、大変申し訳なく思っております。

まずは、併設医療機関である「すみれ病院」はじめ、所管保健所や専門医療機関の指導指示のもと、感染された方が健康を取り戻せるよう全力で支援いたします。あわせて、感染症の拡大を食い止め、一日も早く終息させて日常生活を取り戻せるよう、万全を期して対応してまいります。

◆豊里学園（知的障害児入所型福祉施設）の状況

4月8日現在

3月30日以降、新規の感染者はでていません。ひきつづき一日も早く終息させて日常生活を取り戻せるよう、万全を期して対応を行っています。引き続き、法人内での応援体制を継続させて、児童の看護、生活支援を継続させています。

3月30日現在

PCR検査の結果 児童25名・職員9名の感染を確認（3月23日以降の感染者を含む）陽性の児童の症状は無症状または発熱があっても2、3日で平熱となるなどの症状。豊里学園では施設内で引き続きゾーニングを行い感染拡大を防止するため懸命に努めています。

あわせて、法人内施設の協力を得て、職員派遣を行い本日から豊里学園での児童の生活支援や看護等の業務支援を開始しました。

3月26日

児童2名、職員4名（23日判明の職員含む）計6名の陽性者を確認したことで管轄する保健所より集団感染の指定を受けました。

現在、豊里学園では施設内でゾーニングを行い、感染拡大を防止するため懸命に努めています。

3月23日

職員1名が新型コロナウイルスに感染していることが判明し、濃厚接触者を中心に順次、

職員、児童たちのPCR検査を実施し、施設内でゾーニングを行い、感染拡大を防止するための対応をすすめています。